令和７年度　学校法人研伸学園
一宮研伸大学　開示情報

学校法人研伸学園一宮研伸大学の開示情報について、以下のとおり公開します。
本開示情報は、令和７年５月１日現在で作成しております。

目次

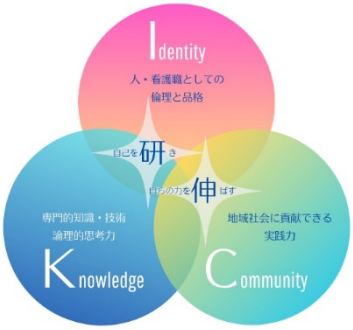
一　大学の教育研究上の目的に関すること　２
二　教育研究上の基本組織に関すること　３
三　教員組織、教員の数及び各教員が有する学位、専門分野及び業績等に関すること　４
四　看護学部及び看護学研究科の入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数、学位論文に係る評価に当たっての基準、進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること　９
五　授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること　１１
六　学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること　１２
七　校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること　１５
八　授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること　１６
九　大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること　１７
十　その他、本学の教育研究情報で学長が公開を必要と認めること　２３
十一　寄附行為の内容の公開　２４
十二　監事の監査報告書の内容の公開　２４
十三　財産目録、貸借対照表及び収支計算書の公開　２４
十四　事業報告書の公開　２４
十五　役員名簿（理事・監事及び評議員の氏名）の公開　２４
十六　役員報酬等の支給の基準　２４
十七　その他、法人の情報で理事長が必要と認めること　２４

一　大学の教育研究上の目的に関すること

１．一宮研伸大学の理念

本学（Ichinomiya Kenshin College; IKC）の教育理念は、「Identity（人・看護職としての倫理と品格）」、「Knowledge（専門的知識・技術、論理的思考力）」、「Community（地域社会に貢献できる実践力）」の３つを育むことである。

また【研・伸】（自己を研き、自らの力を伸ばす）の精神を涵養し、卒業後も生涯にわたって学ぶことにより、社会情勢の変化に応じて看護専門職の役割を果たし、地域で活躍できる人材を養成する。



２．一宮研伸大学教育研究上の目的

豊かな人間性と高度な専門性で地域に貢献する。

３．一宮研伸大学看護学部看護学科　教育目的

人間の尊厳を基本とした専門職としての倫理観を持ち、人々と信頼関係を築きながら最適な看護を提供するために努力する人材の育成であり、多様な価値観や生活を持つ人々を理解し寄り添うことができる豊かな感性と論理的思考を基盤として、専門職としての探求心、創造性、専門的な知識・技術を育み、看護倫理と科学的根拠に基づく看護実践の提供によって地域の人々の健康と生活の質の向上を目指して地域保健・地域医療を支える看護職を育成する。

４．一宮研伸大学大学院　修士課程の教育研究上の目的

深い学識と卓越した能力や人間力を培い、看護における高度な専門職として地域の看護界の発展に寄与する。

５．一宮研伸大学大学院　教育研究上の目的

地域の健康課題と多様化する医療ニーズに対応し、研究・教育能力を有する高度な看護実践者の育成

ニ　教育研究上の基本組織に関すること

１．設置学科・課程の名称

大学名	一宮研伸大学(Ichinomiya Kenshin College)
学部・称	学　部：看護学部 (School of Nursing) 学　科：看護学科 (Department of Nursing)
研究科・称	大学院：一宮研伸大学大学院 （Graduate School of Ichinomiya Kenshin College） 研究科：看護学研究科 （Graduate School of Nursing Science） 専　攻：看護学専攻 （Master’ s Programs in Nursing Science）
学位名	学　部：学士(看護学) (Bachelor of Science in Nursing) 研究科：修士（看護学） （Master of Science in Nursing）

三　教員組織、教員の数及び各教員が有する学位、専門分野及び業績等に関すること

１．専任教員組織及び教員数

所属領域名		教養科目群	専門科目群※	基礎看護学	療養生活支援看護学	急性期看護学	高齢者看護学	小児看護学	母性看護学助産学	精神看護学	計
教授	男	１人	１人	－	－	－	－	－	－	－	２人
教授	女	－	１人	１人	１人	１人	２人	－	－	１人	７人
准教授	男	１人	－	－	－	－	－	－	－	－	１人
准教授	女	－	－	－	１人	－	－	１人	１人	－	３人
講師	男	－	１人	－	１人	－	－	－	－	２人	４人
講師	女	－	－	３人	１人	１人	１人	１人	１人	－	８人
助教	男	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
助教	女	－	－	１人	－	１人	１人	－	２人	－	５人
助手	男	－									－
助手	女	２人									２人
計	男	７人									32人
	女	25人									

※専門科目群は専門基礎科目群を含む

２．看護学部　年齢別教員数

	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代	６０歳代	７０歳代	合計
男	-	１人	３人	２人	１人	-	７人
女	-	３人	４人	10人	７人	１人	25人
合計	０人	４人	７人	12人	８人	１人	32人

３．看護学研究科　年齢別教員数（上記のうち、研究科を担当する者の数）

	２０歳代	３０歳代	４０歳代	５０歳代	６０歳代	７０歳代	合計
男	-	-	１人	２人	１人	-	４人
女	-	１人	１人	５人	６人	１人	１４人
合計	０人	１人	２人	７人	７人	１人	１８人

４．看護学部　職階別教員数

	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
男	２人	１人	４人	-	-	７人
女	７人	３人	８人	５人	２人	25人
合計	９人	４人	12人	５人	２人	32人

５．看護学研究科　職階別教員数（上記のうち、研究科を担当する者の数）

	教授	准教授	講師	助教	助手	合計
男	２人	１人	１人	-	-	４人
女	７人	２人	５人	-	-	１４人
合計	９人	３人	６人	０人	０人	１８人

６．看護学部　専任教員と非常勤教員の比率

比率	専任教員	非常勤教員	
男	15%	85%	
女	57%	43%	
（内訳）	専任教員	非常勤教員	合計
男	7 人	40 人	47 人
女	25 人	19 人	44 人
合計	32 人	59 人	91 人

７．看護学研究科　専任教員と非常勤教員の比率

比率	専任教員	非常勤教員	
男	22%	78%	
女	64%	36%	
（内訳）	専任教員	非常勤教員	合計
男	４人	１４人	１８人
女	１４人	８人	２２人
合計	１８人	22 人	40 人

８．各教員が保有する学位、専門分野及び業績等

一宮研伸大学ホームページ「教員紹介」参照。
https://www.ikc.ac.jp/nursing/members/

NO.	職位	氏名	保有学位	①看護学部領域 ②看護学研究科　担当の有無	研究業績等（リサーチマップにて公表）
1	学長 教授	大久保清子	博士	①専門科目群 ②あり	https://researchmap.jp/k.ohkubo.t
2	学部長 教授	野村千文	博士	①専門科目群　高齢者看護学 ②あり	https://researchmap.jp/read0182968
3	研究科長 教授	安藤詳子	博士	①専門科目群　療養生活支援看護学 ②あり	https://researchmap.jp/SA2022ikc
4	教授	石井成郎	博士	①教養科目群 ②あり	https://researchmap.jp/collabon
5	教授	江本厚子	博士	①専門科目群　高齢者看護学 ②あり	
6	教授	大谷恵	修士	①専門科目群　精神看護学 ②あり	https://researchmap.jp/megyukai
7	教授	櫻井武	博士	①専門基礎科目群 ②あり	https://researchmap.jp/sakurai-2-takeshi
8	教授	鈴江智恵	博士	①専門科目群　基礎看護学 ②あり	https://researchmap.jp/suzue.t
9	教授	牧野智恵	博士	①専門科目群　療養生活支援看護学 ②あり	

１０	准教授	小島德子	博士	①専門科目群　母性看護学、助産学 ②あり	https://researchmap.jp/20130326
１１	准教授	小平由美子	修士	①専門科目群　小児看護学	https://researchmap.jp/ykohira2024
１２	准教授	肥田　武	修士	①教養科目群 ②あり	https://researchmap.jp/hidatakeshi
１３	准教授	増永悦子	博士	①専門科目群　療養生活支援看護学 ②あり	https://researchmap.jp/e.masunaga
１４	講師	伊東裕康	博士	①専門基礎科目群	https://researchmap.jp/hiroyasu_ito
１５	講師	岩井美世子	博士	①専門科目群　急性期看護学 ②あり	https://researchmap.jp/013796-hnc
１６	講師	大瀬恵子	修士	①専門科目群　母性看護学、助産学 ②あり	https://researchmap.jp/read0155471
１７	講師	小澤直樹	博士	専門科目群　療養生活支援看護学	https://researchmap.jp/n.ozawa
１８	講師	河村江里子	博士	①専門科目群　小児看護学	https://researchmap.jp/e-kw
１９	講師	後藤美恵	修士	①専門科目群　基礎看護学	https://researchmap.jp/m.goto.t
２０	講師	佐久間美里	修士	①専門科目群　高齢者看護学 ②あり	https://researchmap.jp/m-sakuma
２１	講師	佐々木久美子	博士	①専門科目群　基礎看護学 ②あり	https://researchmap.jp/_3114
２２	講師	髙島孝晃	修士	①専門科目群　精神看護学	https://researchmap.jp/t.takashima

２３	講師	滝沢美世志	博士	①専門科目群　基礎看護学	https://researchmap.jp/miyoshi-takizawa2021/
２４	講師	馬場美穂	修士	①専門科目群　療養生活支援看護学 ②あり	https://researchmap.jp/m.baba
２５	講師	村岡大志	修士	①専門科目群　精神看護学	https://researchmap.jp/taishi-0910
２６	助教	野々山英里	修士	①専門科目群　母性看護学、助産学	https://researchmap.jp/e-nono/
２７	助教	平野友美	修士	①専門科目群　母性看護学、助産学	https://researchmap.jp/Hirano.t
２８	助教	横井優子	修士	①専門科目群　基礎看護学	https://researchmap.jp/yu-ko-y-2020
２９	助教	川井伸恵	修士	①専門科目群　高齢者看護学	https://researchmap.jp/kawai-nobue/
３０	助教	中山八重	学士	①専門科目群　母性看護学	https://researchmap.jp/yaemonn
３１	助手	樋口かおり	高等学校		
３２	助手	加古夕佳	学士		
専任教員合計					３２名

職位毎の五十音順

四　看護学部及び看護学研究科の入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数、学位論文に係る評価に当たっての基準、進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

１．一宮研伸大学　入学者受入方針 (アドミッションポリシー)

一宮研伸大学ホームページ「一宮研伸大学での学び－３つのポリシー」参照。
https://www.ikc.ac.jp/nursing/policies/

２．看護学研究科　入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

一宮研伸大学ホームページ「大学院での学び－３つのポリシーの関連」参照。
https://www.ikc.ac.jp/graduate/policies/

３．入学者選抜に関すること

一宮研伸大学ホームページ「入試情報」参照。
https://www.ikc.ac.jp/exam/

４．禁煙対策

医療職をめざす者として、一宮研伸大学では、開学から受験資格に「非喫煙者」という項目を掲げています。これは看護の心得を学ぶ学生のうちから精神面においても健康を意識できる環境であるとともに、将来、健康と命を守る医療従事者として活躍するための、大事な条件のひとつとして考えているからです。

喫煙は、喫煙者自身の健康を害するだけでなく、受動喫煙等により非喫煙者の健康をも害しています。また、医療費の増大など国民に不要の社会的コストを負担させる要因ともなっています。本学の取組みと意思を理解・支持してくれる学生さんをお待ちしています。

５．看護学部の入学者数、収容定員、在学者数、卒業（修了）者数、進学者数、就職者数

入学者数	収容定員	在学者数	卒業者数	進学者数	就職者数
75 人	329 人	330 人	84 人	2 人	82 人

６．看護学研究科の入学者数、収容定員、在学者数、卒業（修了）者数、進学者数、就職者数、学位授与状況と修業年限以内修了者の割合

入学者数	収容定員	在学者数	修了者数	進学者数	就職者数
８人	１２人	16 人	４人	０人	３人

修了者数のうち	学位授与者数	４人
	修業年限以内修了者の割合	100%

７．収容定員充足率

学部等の名称	入学定員	（A）在学者数	（B）収容定員	（A/B*100） 収容定員充足率
看護学部 看護学科	８３人	330 人	329 人	100.3%
看護学研究科 看護学専攻	６人	16 人	１２人	133.3%

８．学位論文に係る評価の当たっての基準

一宮研伸大学ホームページ「情報公開－ 一宮研伸大学大学院看護学研究科学位論文審査規程」参照。

https://www.ikc.ac.jp/about/information/

五　授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

１．看護学部　カリキュラム編成方針 (カリキュラムポリシー)

一宮研伸大学ホームページ「一宮研伸大学での学び－３つのポリシー」参照。
https://www.ikc.ac.jp/nursing/policies/

２．看護学研究科　カリキュラム編成方針 (カリキュラムポリシー)

一宮研伸大学ホームページ「大学院での学び－３つのポリシーの関連」参照。
https://www.ikc.ac.jp/graduate/policies/

六　学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

１．看護学部　学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

一宮研伸大学ホームページ「一宮研伸大学での学び－３つのポリシー」参照。
https://www.ikc.ac.jp/nursing/policies/

２．看護学研究科　学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

一宮研伸大学ホームページ「大学院での学び－３つのポリシーの関連」参照。
https://www.ikc.ac.jp/graduate/policies/

３．看護学部学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

①学修の成果に係る評価

一宮研伸大学ホームページ「一宮研伸大学シラバス」参照。
https://mathfia.ikc.ac.jp/mfufg_s2/view/Syllabus_I_2400.xhtml
一宮研伸大学ホームページ「情報公開－看護学部全授業計画」参照。
https://www.ikc.ac.jp/about/information/

②卒業又は修了の認定に当たっての基準

一宮研伸大学ホームページ「情報公開－一宮研伸大学学則」第２７条及び第２８条参照。
https://www.ikc.ac.jp/about/information/

４．看護学研究科　学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準

①学修の成果に係る評価

一宮研伸大学シラバス参照。
https://mathfia.ikc.ac.jp/mfufg_s2/view/Syllabus_I_2400.xhtml
一宮研伸大学ホームページ「情報公開－大学院看護学研究科全授業計画」参照。
https://www.ikc.ac.jp/about/information/

②卒業又は修了の認定に当たっての基準

一宮研伸大学ホームページ「情報公開－一宮研伸大学大学院学則」第３３条参照。
https://www.ikc.ac.jp/about/information/

５．学位授与数

本学の学位授与数は以下のとおりです。

学部等の名称	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
看護学部	９６人	８４人	８０人	84 人
看護学研究科	※	※	※	４人

※令和５年４月１日開学のため、学位の授与実績なし

６．就職先の情報（就職実績＜過去３年分＞）

学部等の名称	都道府県名	病院名等 （順不同）
看護学部	愛知県内	社会医療法人　大雄会、一宮市立市民病院、愛知医科大学病院、藤田医科大学病院、社会医療法杏嶺会　一宮西病院、藤田医科大学　ばんたね病院、名古屋市立大学医学部附属 西部医療センター、社会医療法人宏潤会　大同病院、小牧市民病院、名古屋市立大学病院、社団法人日本海員掖済会 名古屋掖済会病院、日本赤十字社 愛知医療センター名古屋第二病院、公立陶生病院、名古屋大学医学部附属病院、日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院、名古屋市立大学医学部附属　みどり市民病院、藤田医科大学 岡崎医療センター、稲沢市民病院、名古屋市立大学医学部附属 東部医療センター、トヨタ記念病院、医療法人澄心会 豊橋ハートセンター、医療法人純正会　名豊病院、名古屋記念病院、社会医療法人志聖会 総合犬山中央病院、JA 愛知厚生連　知多厚生病院、医療法人資生会 八事病院、JA 愛知厚生連 江南厚生病院、JA 愛知厚生連 豊田厚生病院、みなと医療生活協同組合 協立総合病院、医療法人 成精会　刈谷病院、JA 愛知厚生連 海南病院、愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院、愛知県厚生農業協同組合連合会　稲沢厚生病院、北医療生活協同組合 北病院、名古屋徳洲会総合病院、社会医療法人財団新和会 八千代病院、独立行政法人 地域医療機能推進機構 中京病院、特定医療法人 泰玄会病院、蒲郡市民病院、医療法人豊田会　刈谷豊田総合病院、清慈会　鈴木病院、JA 愛知厚生連　海南病院

学部等の名称	都道府県名	病院名等 （順不同）
看護学部	岐阜県	岐阜大学医学部附属病院、地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター、大垣市民病院、社会医療法人 蘇西厚生会 松波総合病院、中部国際医療センター、公立学校共済組合 東海中央病院
	三重県	医療法人尚豊会　みたき総合病院、公益社団法人地域医療振興協会　三重県立志摩病院
	その他	地方独立行政法人　静岡県立病院機構　静岡県立総合病院、浜松医療センター、聖隷浜松病院、湘南美容外科、市立敦賀病院、医療法人徳洲会　鎌ヶ谷総合病院、公立学校共済組合　九州中央病院、社会福祉法人　恩賜財団　済生会　富山県済生会高岡病院、社会福祉法人　同愛記念病院、国家公務員共済組合連合会 立川病院、医療法人社団明芳会 横浜新都市脳神経外科病院、社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院、日本赤十字社 大阪赤十字病院、医療法人宝生会 PL 病院
看護学研究科	愛知県	社会医療法人大雄会、稲沢市民病院

７．進学先の情報（進学実績＜過去３年分＞）

学部等の名称	都道府県名	人数
看護学部	愛知県	２名
	岐阜県	１名
	その他	２名
看護学研究科	―	―

七　校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

１．校地・校舎等の施設その他の学生の教育研究環境

（キャンパスの概要、運動施設概要及びその他の学修環境、主な交通手段）

１）校地・校舎等の施設（法人保有施設等も含む）

一宮研伸大学ホームページ「キャンパスライフ－施設紹介」参照。

https://www.ikc.ac.jp/about/facility/

２）施設の耐震化率

１号館	２号館	３号館	４号館	その他
耐震化済	耐震化済	耐震化済	耐震化済	耐震化済

２．主な交通手段

１）公共交通機関によるアクセス

一宮研伸大学ホームページ「交通アクセス」参照。

https://www.ikc.ac.jp/about/access/

２）公共交通機関使用以外の通学方法

・自動車通学可（ただし、学内乗り入れはできない為、駐車場は各自確保が必要）

・バイク通学可

・自転車通学可（学生利用可駐輪場　約２８０台）

八　授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

１．看護学部の授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用
一宮研伸大学ホームページ「学納金」参照。
https://www.ikc.ac.jp/campus/tuition/

２．看護学研究科の授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用
一宮研伸大学ホームページ「学納金」参照。
https://www.ikc.ac.jp/graduate/tuition/

九　大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

１．学生の修学に係る支援

１）アドバイザー制

アドバイザー制とは、アドバイザーと呼ばれる教員が、少人数の学生を担当し、定期的に学生と面接を実施して、履修計画や学修および学生生活で必要な指導・相談を行う制度でのことです。アドバイザーは必要に応じて家族に連絡を取り、学生・教員(２人)・家族の３者間で面談を実施します。

学生は、アドバイザー以外の自分が相談しやすい他の教員に、卒業後の進路選択(進学・就職)等について自主的に相談することもできます。

２）履修登録・変更の方法に関する相談窓口

履修登録・変更などの方法については、学修ガイダンスを参照して、まず自分で調べ、不明な点があれば、学務課に相談してください。なお、学務課への相談は、事務局の受付時間(８：５０～１７：１５)内に行ってください。

３）授業の内容に関する質問

授業に関する質問は、各科目の担当教員に対して行ってください。内線電話(設置場所：事務局前・４号館２階)またはメールを利用して教員に連絡し、アポイントメントを取ってください。なお、教員研究室の区域に学生が立ち入ることはできません。

４）オフィスアワーの活用

科目の担当教員が学生個々の学修上の質問や相談に応じるための時間を、オフィスアワーといいます。オフィスアワーは各科目のシラバスに提示されています。

２．進路選択に係る支援

進路選択に係る支援については、「キャリア形成論」の中で、教員の看護分野（保健師、助産師、看護師、専門看護師）を学生に紹介する授業を実施している。

また、令和元年度にキャリアサポート室を立ち上げ、これまでの看護師教育の確かな実績と医療機関等からの信頼をもとに、就職・進学を徹底してサポートしている。インターンシップを含む就職活動の施策の企画・立案実施や病院対応及び求人開拓を行っている。

３．心身の健康等に係る支援

本学では学生が安心して大学生活を送るためのさまざまな取り組みを行っています。学生生活でのちょっとした心配事から疑問まで、誰に相談したら良いのか迷った時も、まず学務課を訪ねてください。

４．学生支援の取組

１）学修支援

学修に意欲的に取り組みたい人や勉強の仕方がわからない人や学修面での不安を抱えている人の相談先を紹介しています。

２）キャンパスライフ支援

学生生活を有意義にするため、本学では学生の意見を募集しています。気軽に事務局前の意見箱に投書して下さい。

３）健康支援

心身の健康に不安のある人や健康診断の結果について相談したい人の相談先を紹介しています。学校保健安全法に準じて、毎年４月に定期健康診断を実施しています。学生はこの健康診断を必ず受けなければなりません。やむをえない理由により受けられない場合は、自費で医療機関を受診して、本学で実施する健康診断項目の結果を記載した診断書を提出しなければなりません。インフルエンザ対策として流行期には希望者に学内で予防接種も実施(自己負担)しています。

また、健康診断結果により、個々の学生に対して学校看護師による健康指導を行います。保健休養室は３号館にあります。病気、負傷等の場合は応急処置が受けられます。学務課に連絡して下さい。

学生生活の中で、不安や迷い等がある時、イライラしたり憂鬱な時は、アドバイザーへの相談のほか、学生相談室で心理カウンセラーによる相談を受けることができます。原則、週１回実施していますが、これ以外でも受け付けています。

５．修学資金に係る支援特待生制度・奨学金等について

１）特待生制度について

１年前期分については、入学式の成績優秀者に対して、授業料の全額又は半額の免除を行います。１年後期分以降については、半期ごとに各年次の前学期の学業優秀者（GPA の上位者）により審査します。

２）日本学生支援機構（JASSO)

奨学金とは、経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、また、経済・社会情勢等を踏まえ、学生等が安心して学べるよう「給付」または「貸与」する制度です。奨学金には、「給付型」の奨学金と「貸与型」奨学金があります。

①「給付型」奨学金（高等教育の修学支援新制度）

経済的理由で大学への進学をあきらめないよう、2020 年 4 月から進学・進級する学生に対して、給付奨学金の対象者が広がりました。世帯収入の基準を満たしていれば、成績だけで判断せず、しっかりとした「学ぶ意欲」があれば支援を受けることができます。また、給付型奨学金の対象となれば、授業料・入学金が免除または減額されます。

②「貸与型」奨学金

人物・学業ともに優れ、かつ健康であって経済的に困っていることにより、著しく修学が困難であると認められた場合に利用できる制度です。

奨学金の種類	貸与月額
第一種【無利子貸与】	＜自　宅＞最高 5.4 万円 ＜自宅外＞最高 6.4 万円
第二種【有利子貸与】	2 万円から 12 万円(1 万円刻み)
入学時特別増額【有利子貸与】	10 万円から 50 万円(10 万円刻み)

区分	授業料 入学金 減免	給付奨学金支給額		給付奨学金受給中の 第一種奨学金貸与月額	
		自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第 1 区分	3/3 免除	38,300 円	75,800 円	0 円	0 円
第 2 区分	2/3 免除	25,600 円	50,600 円	0 円	0 円
第 3 区分	1/3 免除	12,800 円	25,300 円	21,700 円	19,200 円
第 4 区分	1/4 免除	9,600 円	19,000 円	29,800 円	30,400 円

６．看護学部の教育上の目的に応じ学生が習得すべき知識、及び能力に関する情報（履修モデルの設定、主要科目の特徴、科目ごとの目標等）

１）履修モデルの設定

看護学部のカリキュラムは、看護師及び助産師の資格取得を目指し、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づいた履修モデルが設定されている。

２）主要な科目概要（抜粋）

教養科目群	心理学
	人間と社会の仕組みに関する社会心理学（人間関係）及び発達心理学を中心に、心理学領域の諸理論を学ぶ。『エリクソンの発達段階』の概念を基本に、子どもの健やかな成長、青年、成人、高齢者における発達とは何か、人の発達はどのようなものか、発達段階別の特徴とともに、発達を阻害する要因及び発達を促すための支援についても理解する。これらの学びから、人間理解を深め、良好な人間関係を築くための自己と人間関係のあり方を考察する。
連携科目群	教養ゼミナール
	本科目では、プロジェクト活動を通して、大学生に求められる主体的な学びの基盤となる知識・技能・態度を修得する。プロジェクト活動では、今年度は大学の立地する一宮市を"地元"と捉え、"地元"固有の課題を把握・検討し、その課題の改善策を計画・提案する。前半はプロジェクト活動を効果的に進めるために必要な基礎を一斉講義で学び、"地元"の課題に関する調査を行う。後半は議論と提案資料作成を少人数のゼミナールで協働実施する。作成された資料は学年全員でオンライン共有し、印象に残った提案に対する意見と協働活動をとおして学んだことを各自で簡易レポートにまとめる。
専門基礎科目群	生化学
	人間の生命、身体の維持、食物の体内での利用過程などをはじめとする生命活動における生体中の生化学的機能とその仕組みについて学修する。具体的には、(1)生命体としての人体を概観し、細胞複製及び細胞を構成する各種成分の役割、(2)人体を構成する臓器の機能がどのように発揮されているか、(3)タンパク質、アミノ酸、糖質、脂質の代謝経路、及び代謝異常と遺伝病の発症メカニズムについて学ぶ。
専門科目群	基礎看護学Ⅰ(看護学概論)
	保健医療福祉の分野において、看護職の果たす役割の理解を深めるために、看護の概念、機能について学修する。看護の歴史的変遷を理解し、現在の看護職の責務を理解し、これからの発展的可能性を考察する。クリティカルシンキング、効果的な看護技術を活用した計画的な看護実践の意義を理解する。看護の基本となる用語や概念、方法について学修する。

助産師課程専門科目群	助産管理論
	助産業務の管理に必要な知識、法的範囲と責任と助産師外来や院内助産を含めた助産所のマネジメントとしての管理運営の基本に関する理解を深め、助産師業務を評価・調整する基礎的な能力を養う。また、周産期医療を取り巻く助産管理の実際と課題（医療安全の確保と医療事故防止とその対応、災害時の看護等）を様々な助産活動の場を通して理解する。

７．看護学研究科の教育上の目的に応じ学生が習得すべき知識、及び能力に関する情報（履修モデルの設定、主要科目の特徴、科目ごとの目標等）

１）履修モデルの設定

各専攻分野において、履修モデルが設定されている。

２）主要な科目概要（抜粋）

共通科目	地域創成ケアシステム論
	団塊世代が 75 歳以上になる 2025 年以降の高齢社会に向けて、急性期から回復期、在宅医療に至るまで、地域全体で切れ目なく必要な医療や介護が提供される「地域完結型医療」(地域包括ケアシステム）が目されている。地域包括ケアシステム構築に向けた、保健医療行政の動向とともに、地域の病院や地域在宅の連携システムの現状と今後の方向性について学ぶ。
専門科目	がん療養生活支援看護学特論Ⅰ
	がんとともに生きている人とその家族は、健康レベルの変化で、本来の生活の場(居宅)の地域だけでなく、病院・施設などの多様な場で療養生活を送っている。対象者の療養の場について、地域包括ケアシステムや多職種との連携・協働を踏まえたうえで、対象者が主体的に健康課題に取り組むために必要な理論・概念を学び、新たな方略の創造に繋がる能力を培うための看護実践能力、教育・研究能力を養う。
研究科目	看護学特別研究
	各専門領域において、履修生自身が興味関心のある研究課題を見出し、主体的に文献検討、研究計画書および研究倫理審査書類作成等に取り組めるよう導き、研究の実施、修士論文作成、発表等への一連の研究指導を行う。

十　その他、本学の教育研究情報で学長が公開を必要と認めること

１．留学生数及び海外派遣学生数

１）留学生数

在学生数に対する留学生数の割合は０％です。

学部等の名称	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
看護学部	０人	０人	０人	０人
看護学研究科	※未開設	※未開設	０人	０人

２）海外派遣学生数

在学生数に対する海外派遣学生数の割合は０％です。

学部等の名称	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
看護学部	０人	０人	０人	０人
看護学研究科	※未開設	※未開設	０人	０人

２．海外の協定相手校

学部等の名称	協定相手校
看護学部	なし
看護学研究科	なし

３．社会貢献活動(FD・SD 委員会)

実施年度	活動名	概要
令和３年度	公開講座	脳卒中の予防と退院後の生きがいづくり
令和４年度	公開講座	禁煙と健康について
令和５年度	公開講座	混迷の時代をより良く生きる
令和６年度	公開講座	知っておくと役立つ感染対策のあれこれ

４．大学間連携

大学間連携
愛知学長懇話会、ＩＤＥ大学協会

５．産官学連携

産官学連携
なし

十一　寄附行為の内容の公開

一宮研伸大学ホームページ「情報公開－学校法人研伸学園寄附行為」参照。
https://www.ikc.ac.jp/about/information/

十二　監事の監査報告書の内容の公開

一宮研伸大学ホームページ「情報公開－事業報告書」参照。
https://www.ikc.ac.jp/about/information/

十三　財産目録、貸借対照表及び収支計算書の公開

一宮研伸大学ホームページ「情報公開－事業報告書」参照。
https://www.ikc.ac.jp/about/information/

十四　事業報告書の公開

一宮研伸大学ホームページ「情報公開－事業報告書」参照。
https://www.ikc.ac.jp/about/information/

十五　役員名簿（理事・監事及び評議員の氏名）の公開

一宮研伸大学ホームページ「情報公開－役員名簿」参照。
https://www.ikc.ac.jp/about/information/

十六　役員報酬等の支給の基準

一宮研伸大学ホームページ「情報公開－学校法人研伸学園役員及び評議員の報酬等に関する規程、学校法人研伸学園役員の退職金規程」参照。
https://www.ikc.ac.jp/about/information/

十七　その他、法人の情報で理事長が必要と認めること

17-1．自己点検・評価結果

一宮研伸大学ホームページ「情報公開－一宮研伸大学自己点検評価書」参照。
https://www.ikc.ac.jp/about/information/

17-2．認証評価の結果

一宮研伸大学ホームページ「情報公開－令和５年度大学機関別認証評価 評価報告書」参照。
https://www.ikc.ac.jp/about/information/